

BOOK



実務的な内容で刑法が学べる

誰にでも分かる刑法総論

著者の佐々木知子さんは弁護士・帝京大学法学部教授で、『りぶる』の連載「『困ったなあ』に答えます」を執筆。様々な法律問題を分かりやすく解説しています。検事の仕事を15年間務めた経験を生かし、書き下ろした一冊です。

本書は、初めて学ぶ方を念頭に、できるだけ平易な言葉で綴った刑法総論です。法律の体系をはじめ、刑法の構成や役割、民法との関係などを紹介しています。また、様々な具体例も挙げて解説しています。例えば「お金がないのを知っていて無銭飲食をした人」と「お金があると思って飲食をしてそのまま逃げ去った人」はどのように違うのでしょうか。事例や判例を中心とした実務的な内容で、図表やイラストなども使い、刑法の全体像が学べます。



佐々木知子 著
立花書房
2,000円

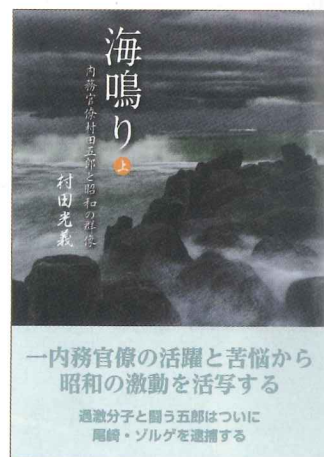
国民協会第二代会長の生涯

海鳴り (上巻・下巻)

～内務官僚村田五郎と昭和の群像～

自由民主党の政治資金団体・国民協会（現・国民政治協会）の会長を務めた村田五郎。清廉かつ剛毅な内務官として、大正・昭和の激動期に活躍しました。東条英機や近衛文麿などの軍人、大臣、代議士、官僚たちなど、五郎の目に映る様々な人間模様を通して、戦前から戦後への昭和の歴史の内実が語られる歴史長編です。

上巻では、陸海軍の激しい憎悪、日中事変の長期化と大戦への道、日米交渉の決裂などの事象が明らかになります。下巻では、東条英機内閣打倒に立ち上がる重臣たち、東京裁判での「戦犯」救援での奔走、近衛新党を巡る白洲次郎との対立などが綴られます。そして、国民協会発足時の状況も詳しく語られます。昭和史を理解したい人にもお勧めの一冊です。



村田光義 著
芦書房
各巻 1,470円